

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【公開番号】特開2006-30750(P2006-30750A)

【公開日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-005

【出願番号】特願2004-211305(P2004-211305)

【国際特許分類】

G 03 B 11/04 (2006.01)

G 02 B 7/02 (2006.01)

【F I】

G 03 B 11/04 C

G 02 B 7/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月3日(2007.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レンズ鏡筒またはレンズ鏡筒を格納するレンズ外装の外周の少なくとも一部に係合溝を有するカメラと着脱するカメラ付属装置であつて、

円管状で、内周壁に押出部を有するロック部材と、

円管状で、外周が前記ロック部材の内周に回動可能に保持され、内周壁の少なくとも一部に突起を有する係合片を有し、前記ロック部材に保持された状態で前記ロック部材に対して回動することにより、前記ロック部材の押出部によって前記係合片が押し出された状態と前記係合片が押し出されない状態とに切り替えることができる係合部材と、を組み合わせてなり、

前記カメラに取り付けた状態で前記係合片が押し出された状態にしたとき、前記係合片の突起が前記カメラの係合溝に係合することにより、前記カメラに保持されるカメラ付属装置。

【請求項2】

前記ロック部材は前記カメラ側の内周にカバー部を有し、

前記係合片は先端に被圧部を有し、

前記ロック部材の押出部によって前記係合片が押し出されない状態にしたとき、前記カバー部は前記被圧部を被覆する、

ことを特徴とする請求項1に記載のカメラ付属装置。

【請求項3】

前記カメラはレンズ鏡筒またはレンズ鏡筒を格納するレンズ外装の外周の少なくとも一部に規制穴を有し、

前記係合部材は前記カメラ側の内周に規制リブを有し、

前記カメラに取り付けたとき、前記規制リブは前記規制穴に嵌まり込む、

ことを特徴とする請求項1または請求項2に記載のカメラ付属装置。

【請求項4】

前記ロック部材は内周にロック係合部を有し、

前記係合部材は外周にロック凸部およびロック凹部を有し、

前記ロック部材の押出部によって前記係合片が押し出された状態にしたとき、前記ロック係合部は前記ロック凸部に係合し、前記係合片が押し出されない状態にしたとき、前記ロック係合部前記ロック凹部に係合する、

ことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載のカメラ付属装置。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載のカメラ付属装置を装着可能なカメラ。